

消防団



○ 伊丹市消防団のあゆみ

- 明 42(月日不詳) 伊丹消防組として、4部編成腕用ポンプを主体として発足する。
- 昭 8. 4. 1 手挽ポンプから自動車ポンプにと装備の近代化に移る。
- 昭 14. 4. 1 警防団令(勅令第20号)の公布により、従来の消防組を廃止して伊丹警防団と改称する。
- 昭 15. 11. 10 市制施行とともに旧稲野村警防団と併合する。
- 昭 22. 3. 1 神津村の合併とともにその警防団も併合する。
- 昭 22. 9. 1 消防団令(勅令第185号)の公布により、従来の警防団を伊丹消防団と改称する。
- 昭 22. 9. 3 1団3分団200名となる。
(第1分団が旧伊丹、第2分団が稲野地区、第3分団が神津地区)
- 昭 23. 7. 1 消防組織法施行に伴い伊丹市消防団として自治体消防の体制を整える。
- 昭 26. 4. 1 第2分団に東野班を増設する。
- 昭 27. 4. 1 第2分団に南野班を増設する。
- 昭 28. 10. 30 第3分団に口酒井班を増設する。
- 昭 28. 12. 1 第2分団を2分して第4分団を新設、同分団に西野班を増設する。
- 昭 28. 12. 22 消防団長(初代)に岸田吉太郎氏が任命される。
- 昭 29. 3. 21 第2分団に千僧班を増設する。
- 昭 30. 4. 1 川辺郡長尾村南部地区の合併とともに同地区の荒牧・荻野各班を併合し、第5分団を新設し、また第4分団に寺本班を増設する。
- 昭 31. 4. 1 第5分団に鴻池班を増設する。
- 昭 31. 12. 20 第4分団に山田班を、また第5分団に西池班を増設する。
- 昭 32. 8. 1 第3分団に下河原班を増設し、5分団26ケ班399名となる。
- 昭 37. 8. 15 市の4ヶ年計画に基づく常備消防の拡充(西出張所の開設)により、地元昆陽・堀池班は解散する。
- 昭 37. 12. 28 消防団の再編成方針に基づき、手挽消防ポンプ所有班は解散し、1団5分団13ケ班204名に縮小する。
- 昭 40. 2. 13 消防署東出張所の開設により、地元森本・岩屋各班は解散する。
- 昭 41. 4. 9 消防署北出張所の開設により、地元鴻池・荒牧各班は解散する。
- 昭 45. 5. 1 消防署南出張所の開設により、地元御願塚・南野各班は解散する。
- 昭 45. 7. 1 組織を改正、これまでの班組織を分団組織に改め、1団7分団(内台、大鹿、北村、下河原、中野、池尻、東野)116名編成とする。
- 昭 47. 7. 1 指導員制を採用し、1団7分団118名編成とする。
- 昭 47. 12. 17 消防団本部を市内昆陽字一ツ樋9番地の2の新庁舎に移転、業務を開始する。
- 昭 48. 2. 26 住居表示変更に伴い、消防団本部の所在地「伊丹市昆陽一ツ樋9番地の2」を、「伊丹市昆陽1丁目1番地」に改める。
- 昭 48. 11. 1 従来からの消防団参与制度を「伊丹市消防団本部設置名称及び組織に関する規程」に規定化する。

- 昭 49. 6. 26 東消防署北伊丹出張所の開設により、地元北村分団は解散。指導員を1名増員し、1団6分団103名編成とする。
- 昭 49. 6. 26 地番整理に伴い、伊丹市消防団本部の所在地「伊丹市昆陽1丁目1番地」を「伊丹市昆陽1丁目1番地の1」に改める。
- 昭 53. 4. 16 消防団長（2代目）に阪上貞雄氏が任命される。
- 昭 56. 4. 1 組織を改正し、1団6分団6班を1団6分団12班とし、階級編成を次のとおり改める。

	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
旧	1	3	6	3	6	6	78
新	1	2	9	6	6	12	67

- 平 3. 12. 7 東野分団車（小型動力ポンプ積載車）を普通ポンプ自動車（CD-I型）に更新する。
- 平 4. 10. 12 中野分団車（小型動力ポンプ積載車）を普通ポンプ自動車（CD-I型）に更新する。
- 平 5. 10. 26 池尻分団車（小型動力ポンプ積載車）を普通ポンプ自動車（CD-I型）に更新する。
- 平 6. 6. 5 第15回兵庫県神戸・阪神地区消防操法大会出場。
- 平 6. 9. 7 局地的集中豪雨襲来。災害救助法が適用される。
- 平 7. 1. 17 兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）が発生する。災害救助法が適用される。
（震源 淡路島北部 マグニチュード 7.3）
- 平 8. 4. 1 消防団長（3代目）に倉橋文一氏が任命される。
- 平 8. 7. 1 伊丹市消防団名誉団長設置規則の制定により、阪上貞雄氏に名誉団長の称号を付与する。
- 平 8. 11. 22 下河原分団車（小型動力ポンプ積載車）を普通ポンプ自動車（CD-I型）に更新する。
- 平 9. 3. 31 車載式消防無線機を全車（6台）設置整備完了する。
- 平 9. 12. 25 大鹿分団車（小型動力ポンプ積載車）を普通ポンプ自動車（CD-I型）に更新する。
- 平 10. 4. 1 消防団長（4代目）に岸谷義雄氏が任命される。
- 平 10. 11. 6 内台分団車（小型動力ポンプ積載車）を普通ポンプ自動車（CD-I型）に更新する。
- 平 11. 9. 24 池尻分団車庫を鉄骨造2階建に改築する。
- 平 13. 12. 10 中野分団車庫を鉄筋コンクリート造2階建に改築する。
- 平 14. 6. 2 第19回兵庫県神戸・阪神地区消防操法大会出場。
- 平 16. 1. 1 消防団員の活動服が全国統一され、新基準による活動服を採用する。
- 平 17. 3. 5 大鹿分団車庫を木造平屋建に改築する。
- 平 18. 12. 4 東野分団車（CD-I型）を更新する。

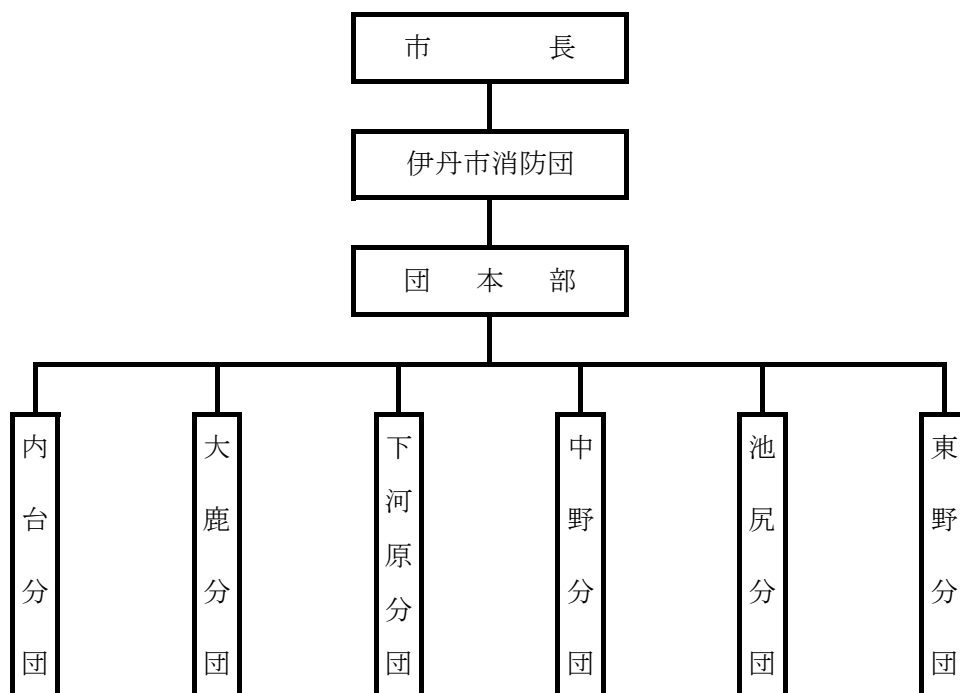
平 19. 12. 5	中野分団車（ＣＤ－Ⅰ型）を更新する。
平 19. 12. 16	下河原分団車庫を鉄骨造平屋建てコンクリート瓦葺に改築する。
平 20. 12. 9	池尻分団車（ＣＤ－Ⅰ型）を更新する。
平 22. 3. 21	東野分団車庫を鉄骨造平屋建てセメント瓦葺に改築する。
平 22. 8. 8	第２３回兵庫県消防操法大会出場。
平 24. 2. 1	下河原分団車（ＣＤ－Ⅰ型）を更新する。
平 25. 12. 13	「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が公布される。
平 25. 12. 13	大鹿分団車（ＣＤ－Ⅰ型）を更新する。
平 26. 2. 28	内台分団車（ＣＤ－Ⅰ型）を更新する。
平 26. 3. 25	内台分団車庫を鉄骨造２階建に改築する。
平 26. 10. 1	女性消防団員７名を採用し、本部付に配置する。
平 28. 8. 2	団本部車を更新する。
平 30. 4. 1	大規模災害時における消防活動体制の充実・強化を目的に、「伊丹市大規模災害消防サポート隊」を発足し、元消防職団員１５名を登録する。
平 30. 6. 18	「大阪府北部地震」が発生。伊丹市災害対策本部が設置される。
平 30. 7. 22	第２７回兵庫県消防操法大会出場。
令 3. 4. 1	消防団長（５代目）に久保善一氏が任命される。
令 4. 4. 1	伊丹市消防団員の任用等に関する条例の一部改正により、任用条件を緩和。 （年齢上限の撤廃）
令 4. 6. 1	市内全域から消防団員の一般公募を開始する。
令 8. 3. 15	中野分団車（ＣＤ－Ⅰ型）を更新する。普通免許対応車となる。
令 8. 3. 24	池尻分団車庫の大規模改修工事が完了する。

○ 消防団の概要

消防団は、郷土愛護の精神で地域に密着した消防機関として、市内に6分団が設置されています。

地震、水火災等の災害時には、常備消防と連携して消防防災活動に当たるとともに、平常時には、防火・防災や応急手当の普及啓発活動、研修及び各種訓練を実施して資質の向上に努めています。

当市においては、消防団施設の整備、団員の装備の充実や処遇改善を図り、魅力ある消防団づくりに取り組んでいます。



○ 消防団の組織と現況

(R8.4.1現在)

階級別 所属	計 (人)	階 級 と 実 員							普 通 ポンプ 自動車	乗 用 車
		団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員		
定 数	103	1	2	9	6	6	12	67		
実員・車両	95	1	2	9	6	6	12	59	6	1
団 本 部	15	1	2	3				9		1
内 台 分 団	14			1	1	1	2	9	1	
大 鹿 分 団	13			1	1	1	2	8	1	
下 河 原 分 団	14			1	1	1	2	9	1	
中 野 分 団	11			1	1	1	2	6	1	
池 尻 分 団	15			1	1	1	2	10	1	
東 野 分 団	13			1	1	1	2	8	1	

○ 階級別年齢構成

(R8. 4. 1現在)

階級別 年齢別	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
計	95	1	2	9	6	6	12	59
20才未満	0							
20才以上～25才未満	2							2
25才以上～30才未満	4						1	3
30才以上～35才未満	2							2
35才以上～40才未満	3						1	2
40才以上～45才未満	11				1		1	9
45才以上～50才未満	13				1		5	7
50才以上～55才未満	17			1	1	1	3	11
55才以上～60才未満	20		1	3	1	4	1	10
60才以上	23	1	1	5	2	1		13
平均年齢	51.6	65.0	64.0	60.9	53.2	56.3	45.8	50.0

○ 階級別在職年数

(R8. 4. 1現在)

階級別 年数別	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
計	95	1	2	9	6	6	12	59
5年未満	17							17
5年以上～10年未満	9						2	7
10年以上～15年未満	16			2	1	1	4	8
15年以上～20年未満	9				2	1	1	5
20年以上～25年未満	12		1				1	10
25年以上～30年未満	12			2	1	1	3	5
30年以上～35年未満	4			2		1	1	
35年以上～40年未満	9			1	2	2		4
40年以上	7	1	1	2				3
平均在職年数	18.8	41.0	36.0	30.1	23.8	26.2	17.5	15.1

○ 消防団本部及び分団の配置状況

(R8. 4. 1現在)

名 称	所 在 地	構 造	竣工年月日	延面積 (㎡)
団 本 部	伊丹市昆陽 1 丁目 1 - 1	R C 造 3 階建 (消防局に併置)	昭 47. 11. 10	2, 304. 90
内 台 分 団	伊丹市伊丹 7 丁目 3 - 3 9	鉄骨造 2 階建	平 26. 3. 25	79. 46
大 鹿 分 団	伊丹市大鹿 3 丁目 5 1 - 3	木造平屋建	平 17. 3. 5	45. 75
下河原分団	伊丹市下河原 2 丁目 1 1 - 6 3	鉄骨造平屋建	平 19. 12. 16	54. 82
中 野 分 団	伊丹市中野西 2 丁目 1 3 7	R C 造 2 階建	平 13. 12. 10	100. 97
池 尻 分 団	伊丹市池尻 6 丁目 1 6 3	鉄骨造 2 階建	平 11. 9. 24	88. 72
東 野 分 団	伊丹市東野 5 丁目 7 4	鉄骨造平屋建	平 22. 3. 21	63. 00

○ 分団別等車両保有状況

(R8. 4. 1現在)

区分 分団	登録番号	シャシー				ポンプ			備考
		型式	年式	燃料	総排気量 (cc)	級別	規格別	最大放水量 (m³/min)	
団 本 部	神戸303 そ 5628	トヨタDBA-ACR55W	H28	R G	2, 360	-	-	-	普通乗用車
内 台 分 団	神戸800 そ 1988	トヨタTKG-XZU685	H26	軽油	4, 000	A-2	CD- I 型	2. 0	CD-1型 (モリタ)
大 鹿 分 団	神戸800 そ 1740	日野TKG-XZU685M	H25	軽油	4, 000	A-2	CD- I 型	2. 0	CD-1型 (トライ)
下河原分団	神戸832 の 119	日野XZU640M	H23	軽油	4, 000	A-2	CD- I 型	2. 3	CD-1型 (トライ)
中 野 分 団	神戸800 つ 35	トヨタ3BF-TRY230改	R8	R G	1, 990	A-2	CD- I 型	2. 3	CD-1型 (モリタ)
池 尻 分 団	神戸831 り 119	日野XZU334M	H20	軽油	4, 000	A-2	CD- I 型	2. 3	CD-1型 (トライ)
東 野 分 団	神戸831 む 119	日野XZU334M	H18	軽油	4, 000	A-2	CD- I 型	2. 3	CD-1型 (トライ)

○ 消防団の活動状況

(R7. 1. 1～R7. 12. 31)

区 分	計	火 災	水 防	訓練等	警 戒	巡回指導	研修会等
出動回数	115	10	0	11	51	4	39
出動人員	990	51	0	233	412	21	273